

令和3年の火災・救急・救助概況



火災

問い合わせ 予防課 ☎254-0356 FAX256-7755

令和3年中に市内で発生した火災は93件で、前年に比べ10件減少しました。火災の種別でみると建物火災は43件で、うち住宅火災は29件でした。

また、火災による死者は6人で、うち5人は住宅火災によるものでした。

全国では、住宅火災で住宅用火災警報器が鳴動し、火災に気付いて早期に消火を行ったことで大事に至らなかった事例などがあります。大切な命と財産を守るため、住宅用火災警報器を設置し、維持管理しましょう。

区 分		令和3年	令和2年	増 減
火災件数合計(件)		93	103	▲10
火 災 種 別	建物火災(件)	43	43	0
	うち住宅火災(件)	29	27	2
	林野火災(件)	3	3	0
	車両火災(件)	11	12	▲1
	その他の火災(件)	36	45	▲9
死者(人)		6	5	1
	うち住宅火災(人)	5	4	1
負傷者(人)		3	5	▲2

▲は減少を示します。令和3年中の数値は速報値です。



救急

問い合わせ 消防救急課 ☎254-1600 FAX254-1607

令和3年中の市内における救急出動件数は1万4,671件で、前年に比べ429件増加しました。事故種別でみると、例年同様急病が最も多く、次いで一般負傷、交通事故の順でした。

新型コロナウイルス感染症の流行に伴う外出自粛で、令和2年は救急出動件数が減少傾向でしたが、令和3年に入り、新しい生活様式の下で日常を取り戻し始めたこともあり、前年に比べ増加しました。今後も感染症対策に取り組みましょう。また、救急車の適正利用についてもご理解とご協力をお願いします。

救急車を要請するか迷った場合には、三重県救急医療情報センター(☎229-1199)に相談しましょう。

区 分		令和3年	令和2年	増 減
出動件数(件)		14,671	14,242	429
搬送件数(件)		12,931	12,866	65
搬送人員(人)		13,003	12,953	50
主な事故種別	急病(件)	9,500	9,185	315
	一般負傷(件)	2,435	2,462	▲27
	交通事故(件)	921	934	▲13

▲は減少を示します。令和3年中の数値は速報値です。



救助

問い合わせ 消防救急課 ☎254-1601 FAX254-1607

令和3年中の市内における救助出動件数は187件で、前年に比べ38件増加しました。救助出動のうち交通事故が89件で最も多く、全体の48%を占めています。

建物等による事故は51件で、2番目に多い件数となっています。その多くは「高齢者が建物内に居ると思われるが、外からの呼び掛けに応答がない」というものです。みんなが安心して暮らせるよう、日頃から地域の連絡・協力体制を築きましょう。

区 分		令和3年	令和2年	増 減
出動件数(件)		187	149	38
活動件数(件)		132	85	47
救助人員(人)		120	86	34
主な事故種別	交通事故(件)	89	66	23
	建物等による事故(件)	51	49	2
	水難事故(件)	6	7	▲1
	火災(件)	3	0	3

▲は減少を示します。令和3年中の数値は速報値です。

新型コロナウイルス感染症対策に潜む火災のリスク

消毒用アルコールは火気に近づけると引火しやすく、発生する可燃性蒸気は空気より重く低いところにたまりやすい特徴があります。以下の点に注意しましょう。

- こんろなどの火気の近くで使用しないようにする。
- 直射日光が当たる場所や高温となる場所に置かない

ようにする。

- 通気性のある場所や、換気されている場所で使用する。
- 容器は、落下させたり衝撃を与えないようにする。
- 容器には、「消毒用アルコール」「火気厳禁」と記入する。